

# 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 外来診療医担当表

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	第1診察室	外科 櫻井 外科 佐々木 [不定期]	外科 櫻井		外科 佐々木 [不定期]	外科 櫻井	外科 櫻井				
	予約診1	内科(循環器) 有田	内科(循環器) 有田		内科(肝臓) 佐藤	内科(肝臓) 佐藤			内科(神経) 中西		
	予約診2	内科(神経) 山根木	内科(呼吸器) 上谷		内科(肝臓) 田中寛				内科(糖尿) 小河		
	予約診3		内科(糖尿) 小河								
	新患診1	内科 交替制	内科 交替制		内科 交替制	内科 交替制			内科 交替制		
	新患診2	内科 交替制			内科 交替制	脳疾患・救急 加藤 [1-3週]	内科 交替制		脳疾患・救急 上野 [2-4週]	内科 交替制	
脊椎ケアセンター	第5診察室	脳神経外科 大岩	脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		脳神経外科 大岩		
	第7診察室	センター長 川上	センター長 川上						センター長 川上		
	第8診察室	整形外科 宮本	整形外科 中尾		整形外科 中尾	整形外科 宮本		整形外科 宮本			
	リハビリテーション科	隅谷	隅谷		隅谷	隅谷		隅谷			
	眼科	泉谷	子供外来 黄斑外来 手術	泉谷	術前外来 田中	手術 田中					
	小児科	戸川	樋口		戸川	樋口			戸川		
麻酔科	堂城				堂城			堂城			

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。 2013年4月1日現在  
※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。 ※外科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。  
※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センターTEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

## 『旬をいただく』 美味しいレシピ

### （春レシピ） 筍ご飯



春風の心地よい季節となりました。

春を代表する食材に筍があります。「たけのこ」は1旬（10日間）ほどで竹になることから「筍」という字が当てられています。また筍には旨み成分であるグルタミン酸、アスパラギン酸、チロシン等のアミノ酸が含まれています。中でもチロシンは筍の切り口に見られる白い粉であり、ドーパミンなどの神経伝達物質の原料となり、脳や神経を活性化させる働きがあるとされています。春の味覚を楽しむのに筍ご飯などいかがでしょうか。

<材料：2人分>

米150g、水165g、筍50g、鶏もも肉40g、油揚げ10g、酒12g、塩1g、薄口醤油6g、  
サラダ油2g、みつは0.1g

<作り方>

米は洗い30分程ざるにあげておく。筍は下茹でし、短冊切りにする。鶏もも肉は一口大に切る。油揚げは千切りにする。炊飯器に洗米、水、筍、鶏もも肉、油揚げ、調味料(酒、塩、薄口醤油)を入れ、最後にサラダ油を入れて炊く。（サラダ油を少し加えることでツヤが出る炊き込みご飯に仕上がります。）

<栄養量：1人分>

エネルギー・317kcal 蛋白質量・10.1g 脂質量・4.2g 炭水化物量・59.8g 塩分1.2g



管理栄養士 菅野 馨代

## お知らせ

- ・平成25年3月に内科 石口宏講師が退職し、4月より中西一郎助教が着任しました。
- ・平成25年3月に脳神経外科 田中慎之准教授が退職し、4月より大岩美嗣准教授が着任しました。
- ・平成25年4月に眼科 泉谷愛助教が着任しました。
- ・平成25年4月に小児科 戸川寛子助教が着任しました。
- ・次回の紀北分院通信「あじさい」夏号は7月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 有田 幹雄

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL 0736-22-0066 FAX 0736-22-2579  
ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2013年4月発行



# 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院通信



# あじさい



平成25年度紀北分院辞令交付式・着任式

## 理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

## 基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作り貢献します。

## 患者さんの権利

- 当院では、受診される皆様、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
  - 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
  - 3 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
  - 4 他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
  - 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

## 掲載内容

- ・紀北分院院長就任2年目に当たって
- ・新任ドクターの挨拶
- ・高血圧看護専門外来について
- ・リハビリテーション科の紹介
- ・花粉症「目のアレルギー」について
- ・病院機能評価V6R6.0の認定を受けました
- ・外来診療医担当表
- ・「旬をいただく」美味しいレシピ



## 分院長就任2年目に当たって

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院長 有田 幹雄



分院長 有田 幹雄

外来診察日 月曜日・火曜日  
専門分野  
循環器・スポーツ医学



紀北分院に赴任して、早くも1年が経過しました。教育・研究・診療とめぐるしく環境の変化した1年でした。「私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全でご安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。」という理念の実現のため、教職員一同がんばってまいりました。1年間を振り返り、今後の発展につなげていきたいと考えております。教育面では初期研修医の受け入れ、医学部1年生の研修、保健看護学部学生の実習、地域医師会との勉強会など大学附属病院として教育を重視してまいりました。地域との連携として、かつらぎ町との連携による特定健診への参加と、かつらぎ健康ルネサンスへの協力などを行いました。診療面では、日本医療機能評価機構の「病院機能評価 Ver6.0」の認定取得、敷地内全面禁煙、緩和ケア認定看護師の在宅訪問、伊都消防との救急カンファレンスの実施などを行いました。

今年さらには教育内容を充実したいと考えております。症例検討会、抄読会、画像カンファレンス、心電図勉強会などを行い、若い優秀な医師を育てたいと考えております。複数の疾患や問題を抱えている高齢の方々に対して効率的な医療を提供するため、臓器別・領域別ではなく、患者さんを幅広い視点で診ることのできる総合診療医が必要と考えられています。地域の医療機関等と連携した多様な患者さんの診察、問診や身体所見、カンファレンスなどを実施し、総合的な臨床推論能力・診断能力をもつ医師を育ててまいります。診療面では、リハビリテーションの充実、緩和ケアへの取組、救急のさらなる充実を図ってまいります。

予防、医療、介護、生活支援、住まいなどの暮らしを考えた地域包括ケアの視点から紀北分院のあるべき姿を考え、住民の方々の信頼を真に得られるような病院にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

## 新任ドクターの挨拶



内科 講師 田中 寛人

外来診察日 水曜日  
専門分野  
肝臓病・消化器病・内科

平成25年1月から内科医として着任した田中寛人と申します。私は、和歌山県紀南地方出身で医大卒業後19年目となります。これまでにこの地域での診療を受け持った経験はありません。大学病院などで働いていたときは、紀北分院は遠い存在のように感じていましたが、着任して綺麗で立派な病院であったので感激しているところです。このような病院で仕事ができることを光榮に思っている次第です。

私の専門分野は、消化器内科、特に肝臓分野です。肝炎や肝硬変、肝癌を中心にこれまで様々な病院で診療に研究に頑張ってきたところです。この地域でのこれらの疾患のさらなる治療の向上に努めていきたいと思ひます。

また、総合内科医としても活躍したいと願っており、一生懸命頑張っていきたいと思ひますので、様々な事柄についてご相談いただければ幸ひに思ひます。

## 高血圧看護専門外来について

平成24年から高血圧看護専門外来が立ち上げられ、高血圧の患者さんに減塩を中心とした指導を行っています。患者さんの中には薬を服用していればいだろうと思ひているかたも少なくありません。確かに薬をきちんと服用することも大切です。しかし、それ以上に生活習慣を改善することが重要となります。患者さんに健康的な生活習慣を獲得してもらひ、脳卒中や心疾患などの合併症の予防につとめていきたいと思ひます。

※実施日：月曜日（午前）

ご利用方法・費用については、外来看護師又は総合案内受付におたずねください。



## リハビリテーション科の紹介

リハビリテーション科 療法士長 成川 隆

今回は、リハビリテーション科の紹介をさせていただきます。まず、リハビリテーション科は、リハビリテーション専門医1名、整形外科医3名の医師4名、理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士1名の技師10名、業務補助員1名が勤務しております。この4月から作業療法士2名と言語聴覚士1名が増員されました。

診療は、月曜日から金曜日（土・日曜日、祝祭日は休診）で、午前は主として外来、午後は主として入院の患者さんの診療を行っています。また、各診療科医師、各病棟、地域連携室と合同で、週に一度リハビリテーションカンファレンスを開催し、情報を共有することによって連携を深めつつ診療を行っています。

対象となる疾患は、首や腰などの脊椎疾患、肩や膝などの関節疾患、脳卒中その他の神経疾患、種々の内臓疾患などで、幅広く診療を行っています。今年度からは、言語聴覚士1名の増員に伴ひ、言語や嚥下に問題を有する患者さんへの対応も可能となります。また、心臓疾患に対応する心臓リハビリテーションや、がん患者さんに対応するがんリハビリテーションへの対応も予定しています。

当院は、紀北地域における基幹病院であり、紀北地域に暮らす住民の皆様の健康を守るために、真摯に医療を実践していく使命があります。そして、教育研究機関としての役割を果たしていく必要もあります。リハビリテーションの領域における教育・研究・診療を通じて少しでもお役に立つことが出来るよう努力してまいりたいと思ひます。



## 花粉症（目のアレルギー）について

2月～4月にかけて花粉症という一大イベントが起きており、毎年「花粉飛散予報」がされています。近年、花粉症はさらに増加の一途をたどっています。眼科領域でもスギ花粉を原因とする季節性アレルギー性結膜炎が急増しています。花粉症はQOL（生活の質）の低下だけではなく、労働生産性にも影響を及ぼし、社会的問題ともいえます。

アレルギー性結膜炎の症状としては充血などいろいろありますが、一番つらい症状としてあげられるのが「目のかゆみ」です。我慢できずに目をこすってしまい、角膜などを傷つけることもしばしば見られます。

花粉症治療のアドヒアランス（患者さん自身が病態を理解し、積極的に治療に参加する）には、患者さん自身が取り組むセルフケアと医師とともに進めるメディカルケアがあります。

セルフケアとしては花粉を避けることと生活習慣の見直しが必要で、マスクや眼鏡の着用や、室内清掃などが大事になります。

メディカルケアとしては、抗アレルギーの点眼が主体で、昨今は初期療法として季節前投与することで症状が緩和されます。さらにメイフェーターの遊離抑制と抗ヒスタミン作用も持ち合わせるdual actionを持つ点眼薬も効果的です。ただし、症状が悪化した時にはステロイド薬や免疫抑制剤の点眼を併用する必要性もあります。

まずは眼科への受診で、症状に見合った診断をしてもらうことが必要ではないでしょうか？



眼科 講師 田中 寛人

外来診察日  
木曜日（午前）、金曜日  
専門分野  
眼科全般（特に白内障、黄斑変性）

## 病院機能評価Ver6.0の認定を受けました

事務室医事班 山本 雄之

平成24年12月に、(財)日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価Ver6.0の新規認定を受けました。

この病院機能評価は、医療の質の向上を目的に設定された350以上の評価項目について審査が行われ、全ての項目において一定水準を満たしている場合に認定されるもので、全国で2,408、県内で18の病院が認定を受けています。（平成25年1月現在）

病院機能評価の審査は、書面審査と3日間に及ぶ訪問審査で行われ、昨年9月に4名のサーベイヤー（評価者）が来院され、医療や看護の質、医療安全や感染防止対策の取組、各所属におけるマニュアル類の整備状況や運用状況、病棟や外来の療養環境など様々な審査が行われました。当院では1年以上前に対策委員会を立ち上げ、職員一丸となり取組を行ってきた成果もあり、追加の審査を受けることなく、無事に認定を受けることが出来ました。

この結果に安心することなく、今後も継続して質の高い医療を提供し、患者さんが安心して医療を受けられる病院を目指して参ります。

